

用した学習で、年間を通して企画から実践まで生徒が自ら行う。本年度は「物作りで地域に貢献する」をテーマに、親子で夏休みの作業を楽しんでもらおうと参加者を募集。水辺を滑る

モーターボートや、電磁石を利用した釣り遊びなどを参加した小学生らと一緒に作った。

ワークショップを終え、同校の新城英勇君(2年)は「準備段階で何度も試

作を重ねた。子どもたちは作るのに苦戦していたが、うまくいって笑顔が見られて成功したと思っ

物作りの楽しさをより教えられると考えた。小学生にも分かりやすく伝えるのに苦労したが理解してくれて良かった」と明るい表情を見せた。

に対する回答が14日現在までなく、新里会長は「手は地元の理解を得て画を進めると言ったが、民の考えとかけ離れている。開発で脅かされる白の資源を失わせたくない」と訴えた。

今月中に賛否を決定

協絡連絡問題

白保リゾートホテル計画 公民館の臨時総会で

(株)石垣島白保ホテル&リゾート(職名安信代表取締役)が白保集落北側の東海岸沿いにある自社有地で建設を計画している高級リゾートホテルを巡り、計画に疑問を示している白保地域の自然保護団体などで組織する「白保リゾートホテル問題連絡協議会(新里昌央会長)は14日、市役所3階野党控室で会見し、今月中に公民館の臨時総会を開き、ホテル建設への賛否について最終的な意思決定を行う方針を示した。

同協議会が会見前に市の担当者に確認したところ、

7月の住民説明会で企業側が終了したと報告していた、市との開発行為基本計画の事前協議が現在も協議中であることが判明。住民説明会で事実と異なった説

明をした企業側の姿勢に、協議会メンバーで市議の宮良操氏は「故意に事実と違う内容を住民に報告して計画を優位に進めようとする意図を感じる。行政には事前審査を含めてしっかりとチェック機能を果たしてほしい」と憤った。

同協議会によると、住民説明会で企業側に求めた自然環境の変化や生態系への影響に対する考え方

条で協定

と市消防本部

ぶ恐れのある特異行方不明者を連携して捜索活動を実施し早期発見・保護につなげることを目的とした協定を締結した。これにより、森林での捜索活動など人員が求められる際、届け出人の了解を得て双方が合同で捜索を行うことが可能となった。県内初の協定となる。

協定が対象とするのは▽自救能力がない恐れがある

している。

同署での締結式で与那嶺署長は「土地勘のない県外からの来島者が森林に迷い込んだ場合、早期に大量人員で捜索をしなければならぬ。早期発見・保護に向けて関係機関と連携を図りたい」とあいさつ。

宇根消防長は「締結により、捜索態勢や資機材面でも協力体制を築きたい。これまででは届け出人が警察・消防両方に届け出を出していたので、そういった負担の軽減にもつながるのでは」と期待した。



白保で計画されている高級リゾートホテルの建設計画について市担当者から確認する白保リゾートホテル問題連絡協議会のメンバーら(左奥)=14日午後、市役所3階野党控室

安全なマリッジジャーを 石海保が業者に対策呼び掛け

本格的なマリッジジャー、シーズンを迎え、島内レジャー業者らに台風接近時の安全対策の重要さを再認識してもらおうと石垣海上保安部は14日、



16、17日に沖縄と世界つながり体験市子どもセンター沖縄県のレッツスディーワールドウチナーチュ事業の一環として「